

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市西花苑たんぽぽホーム
2 指定管理者	社会福祉法人仙台はげみの会
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 2,308人(前年度比97.8%) 令和5年度 2,360人(前年度比97.8%) 令和4年度 2,413人(前年度比125.8%) 《事業》 児童発達支援事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 52,804千円(49,769千円) - その他市が負担した費用 277千円(314千円) 《収入》 - 使用料収入 32,222千円(31,210千円) - その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 1年に1回保護者にアンケート調査を実施している。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。法人独自で研修を開催し支援の充実に努めている。 利用者個々の年齢や発達状況、障害特性に合わせた療育支援を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実に積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 情報管理の徹底に努めており、事故防止や災害発生時の対応や体制を確立している。 災害発生時の対応について、近隣保育所等とネットワークを構築しているほか、避難訓練は毎月実施している。	25/25
III 施設・設備の維持管理	施設の定期的な保守点検・清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	研修の開催や職員間でグループワークの手法を取り入れた取り組みにより、人材育成を図るとともにサービス向上に努めている。また、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。	27/27
V 施設固有の基準	集団での療育の他、1人1人の発達課題に添った個別活動の実施や、保護者との面談・療育場面の共有を通し、利用者個々の発達に寄り添った個別支援計画の作成に努めている。 指定児童発達支援事業所として、基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台はげみの会）による自己評価》
1. 発達支援 ①こどもの特性に合わせ、室内の「構造化」や視覚支援等の分かりやすく取り組みやすい環境を整え、個々に応じた療育の工夫をした。 ②親子での活動を基本としながら、在籍期間や個々に合わせてホーム内で親子が離れての活動を実施した。また、4歳児、5歳児を対象に通年で毎日通園、単独での通園を実施し、こどもに合わせた活動の形態とした。 ③定期的に個別での活動の機会を設け、保護者とこどもの強みや苦手さを共有し、こどもの理解、対応を考える機会とした。 ④保育士・指導員、看護師、理学療法士、心理士が連携し多角的に支援の手立てを考え、それぞれの障害や特徴に合わせたプログラムを行った。 2. 家族支援 ①保護者勉強会を定期的実施し、こどもへのより良い対応や進路決定等について学ぶ機会とした。 ②卒園児支援「さくらんぼ」にて保護者同士の情報交換や就学相談、就学についての勉強会を実施した。 ③きょうだい児の行事や保護者の通院などの際の一時預かり、療育時間内のきょうだいの預かりを行った。 3. 地域支援 ①「移行支援シート」を用いて進路先にこどもの様子をわかりやすく引き継ぎ、卒園後も安心して過ごせるよう努めた。 ②地域相談員が子育て機関や保育所を定期的に訪問し、継続した支援を実施した。 ③青葉区エリアを対象に市民センターを会場にして「初期支援プログラム」「ペアレント・プログラム」を開催し、就学前療育支援の拡充に努めた。 ④地域の幼稚園や保育所、認定こども園等の職員向けに講演会や施設見学会を実施し、発達障害への理解と支援方法の拡充に努めた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従っておおむね適切・良好に行われていた。 本人支援では、複数の専門職が連携し多角的な視点から障害特性等にに応じた支援を提供した。当施設は親子での通園を基本としつつも、4～5歳児を対象にこどもだけの毎日通園を通年で実施するなど、児童の状況に応じた支援を行ったことが特に評価できる。 保護者への支援では、きょうだい児への相談援助も実施したり、保護者勉強会を定期的開催したり、卒園児の保護者同士のつながりの場を設けたりするなどの支援に取り組んだ。 地域への支援として、幼稚園や保育所、認定こども園等への定期的な訪問支援のほか、講演会や施設見学会などの障害理解の啓発活動も行われた。センターからの卒園児の支援においては独自に「移行支援シート」を作成し、卒園後の移行先に引き継ぎをし丁寧な支援に努めた。 利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項